

別表1「生成AI英会話システム要件一覧」

【基本要件】

項目			内容
基本事項	サービス提供環境	機器環境	<p>マルチデバイス対応であり、指定する機器環境に対応できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応デバイス：Windows端末、ChromeOS端末 ・対応OS：Windows11、ChromeOS ・対応ブラウザ：Microsoft Edge、Google Chrome <p>操作機器で動作させるシステム及びソフトウェアは、インストールが不要なWeb型システムである。</p>
		データ管理	クラウド環境等を活用してデータを保存できるようにするとともに、利用者認証により、どの操作機器からでもデータを利用できるようにすること。
		サービス提供時間	原則、24時間365日利用可能とすること。但し、保守等の予定された停止については、この限りではない。
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、生徒及び教員等の利用者誰もが、わかりやすく利用しやすいシンプルなデザインとなるよう、配慮がされていること。また、利用者にとって、詳細なマニュアル等を見なくても感覚的にログインや管理等の操作ができるよう、配慮されたインターフェースであること。
	情報セキュリティ	個人情報・情報セキュリティの遵守	個人情報・情報セキュリティに関する法令及び条例等を遵守すること。
		システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得すること。
		アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。
		不正プログラム対策	システム（サービス）に稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等、不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じるとともに、当該対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。
			システム（サービス）に稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップ等、適宜実施できる環境を準備すること。
		その他セキュリティ対策	個人情報の保護に配慮する等、利用者が安心して利用できる対策を実施している。
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの消去等	サービス終了もしくはサービス利用契約終了後は、発注者が提供を希望する保有データを提供ののち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすることができる。
	利用規約等	プライバシーポリシー	サービスにおけるプライバシーポリシーを表示することができる。
	関係法規制への対応	関係法規制への対応	サービスの稼働、運用・提供に関する関係法規を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施できる。

別表1「生成AI英会話システム要件一覧」

資格管理	利用者側アカウント管理	管理情報	生徒氏名、学校名、クラス、出席番号等の利用者情報を登録・管理できる。
		アカウント設定・認証方法	ID・パスワード等により、容易にログインできること。また、Microsoft 365 Educationの場合は、Microsoftアカウントとシングルサインオン連携することができ、Google Workspace for Educationの場合は、Googleアカウントと紐づけて利用できる。
		アカウント情報の修正・停止（廃止）	学校管理者アカウントで利用者のアカウントの作成・修正・停止・廃止ができる。
			アカウント管理は、生徒等個別での操作のほか、CSV等のファイルによる一括更新に対応できる。
			転出入する生徒のアカウント情報の変更ができるとともに、アカウントに紐づく各種情報（名簿情報や学習履歴情報等）が引き継げる。
	管理側アカウント管理	管理情報	所属、名前、担当クラス等、職員情報を登録・管理できる。
			職員アカウントの登録は、CSV等により一括で追加・変更・削除ができる。
		アカウント設定・認証方法	職員ごとに、ID・パスワードでログインできる。
			特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できる。
アクセス制御		教育委員会職員、学校管理職、一般教諭等、複数の管理者ごとに参照権限等の設定ができる。	
	職員の権限設定は、特定の権限をもつアカウントからのみ行える。		

【機能要件】

項目	内容
生徒・教員・教育委員会向け機能	AIとの安全でスムーズな英会話が授業外でも自由かつ無制限にできる。
	学習状況や問題ごとの得点やフィードバックについて閲覧機能を有している。
	AI音声のスピーキング速度を利用者が調整する機能を有している。
	生徒が自分の目的やCEFRレベル、英語検定レベル、単元、CAN-DOリスト等をもとに対話内容や学習内容を選択出来る機能を有している。(教員から指示や課題配信がなくても)
	AIとの会話が行き詰った場合に、生徒を支援する対話補助機能を備えている。
	教員が生徒の実態に応じて課題配信が出来る機能を有している。
	教員が生徒が録音した音声や対話内容を確認出来る機能を有している。
	教員が生徒の利用実態を確認出来る機能を有している。
	教育委員会が各学校の利用実態を確認出来る機能を有している。
	生徒が自分のCEFRレベルを確認出来る機能を有している。
	生徒の利用実態の収集・分析をする機能を有している。
	学習指導要領に対応している。
	本市立中学校が使用する教科書（教育出版、三省堂）に対応している。